

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	011 スマートシティの推進					担当部課	政策イノベーション部スマートシティ
予算科目	01-020108-20 スマートシティ推進に要する経費					担当部課 係名	政策イノベーション部スマートシティ
市長公約	1	2	3	47			
戦略プラン	IV-3	1	1	地域の課題解決のためのスマートシティの		新規・継続	新規
						事業分類	自治事務（任意）
						事業体制	職員のみ
個別計画	つくば市科学技術振興指針（第2期）、つくば中心市街地まちづくり戦略					事業期間	毎年度
根拠法令等	国家戦略特別区域法、未来投資戦略、つくばスマートシティ倫理原則、スーパーシティ基本方針					SDGs	09産業と技術革新の基盤をつくろう
							11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	市民、教育・研究機関、企業等
目的	民間事業者等との公民連携を進め、革新的な技術や多様なデータの連携による新たなサービスを迅速に社会実装することで、誰もが安全、安心、便利で快適な生活を送ることのできるヒト中心の未来都市の構築
概要 (取組内容)	国が進めるスマートシティ、スーパーシティ構想等の枠組みを最大限活用することで規制緩和を図り、大学・研究機関、企業等が持つ革新的技術と多様なデータ連携による新しいサービスの社会実装を推進する。具体的には、AI、IoT、ロボティクス、MaaS、ブロックチェーンといった先端技術を活用し、次世代モビリティサービス、多言語情報ポータルサイト、ネット投票などの地域課題の解決に資するサービスを展開する。

コストの推移

項目		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円) 0	3,000	3,000	67,211	67,211	
	決算額	(千円) 0	3,000	3,000	0	0	
	内訳	一般財源	(千円) 0	3,000	3,000	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円) 0	0	0	0	0
		その他	(千円) 0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円) 0	11,060	22,471	22,471	22,471	
	内訳	正職員従事割合	(人) 0.00	1.50	3.00	3.00	3.00
		正職員時間外勤務	(時間) 0.00	350.00	810.00	810.00	810.00
		会計年度任用職員有無	(-) 無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	住民説明会、タウンミーティング、アンケート、ホームページやSNSでの情報発信等
企画・立案、計画	意見交換会、ワークショップ、オープンハウス等
実行	アンケート、モニター調査、ホームページやSNSでの情報発信等
評価、検証	住民説明会等

指標の推移

1	指標名	先端技術を活用した新たなサービスの社会実装数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	1.0	1.0	1.0	1.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	個別施策の指標「スマートシティの推進に係るプロジェクトの利用者満足度を増加させます。」を達成するために、事務事業の指標として「先端技術を活用した新たなサービスの社会実装数」を設定する。						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		
成果	スーパーシティは、全国2自治体（つくば市、大阪市）の1つとして指定見込みである。スマホアプリを活用したAIオンデマンド乗合タクシーの実証では、70代の利用者が最も多く、約1か月間で延べ164人が利用し、高齢者を含めた市民のニーズが高いことがわかった。また、医療介護等の分野での実証、並木中等・茗溪学園の生徒会選挙でのインターネット投票活用等を実施した。	
課題	業務	実証から実装への誘導
	組織、予算等	国等の補助金の効果的な活用
改善目標	国等の補助金を効果的に活用しつつ、事業者負担、ビジネス化を見据え調整をはかり、実装へつなげる。	

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	拡大・拡充
理由	防災分野スマートシティサービスとしてつくばスマートシティ協議会へ負担金、情報格差の解消に向けた制度設計の基礎調査のための委託料、スーパーシティ住民等の意向確認のための委託料を追加するため

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	012 デジタル情報プラットフォームの導入による地域との連携推進						
予算科目	01-020108-20 スマートシティ推進に要する経費				担当部課	政策イノベーション部スマートシティ	
市長公約	1	2	3	47	係名		
戦略プラン	IV-3	2	5	デジタル情報プラットフォームの導入によ		新規・継続	新規
						事業分類	自治事務（任意）
						事業体制	一部委託
個別計画	つくば市情報化推進計画、つくば市科学技術振興指針（第2期）				事業期間	毎年度	
根拠法令等	国家戦略特別区域法、未来投資戦略、つくばスマートシティ倫理原則、スーパーシティ基本方針				SDGs	09産業と技術革新の基盤をつくろう	
						11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市民、教育・研究機関、企業等
目的	市民等の住民福祉・利便向上を図る。市内や地域からの情報提供の共通基盤を整備し、これと連携する様々な市民向け情報提供アプリケーションの開発及び機能拡張に取り組む。
概要 (取組内容)	国が進めるスマートシティ、スーパーシティ構想等の枠組みを最大限活用することで、様々なデータを分野横断的に収集・整理し提供する「デジタル情報プラットフォーム」（データ連携基盤、都市OS）を構築し、産学官民が連携し活用することで、市民等に様々なサービスを提供する。

コストの推移

項目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	50,000	0	39,323	39,323	
	決算額	(千円)	0	50,000	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	50,000	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	3,400	14,980	14,980	14,980	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.50	2.00	2.00	2.00
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	540.00	540.00	540.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	住民説明会、タウンミーティング、アンケート、ホームページやSNSでの情報発信等
企画・立案、計画	意見交換会、ワークショップ、オープンハウス等
実行	アンケート、モニター調査、ホームページやSNSでの情報発信等
評価、検証	住民説明会等

指標の推移

1	指標名	デジタル情報プラットフォームの利用事業者数 (社)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	1.0	1.0	1.0	1.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	(IV-3-②)データで市民を豊かにするまちの推進) デジタル情報プラットフォームを利用してサービスを提供する事業者の数						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		
成果	つくばスマートシティ協議会「情報連携システム等基盤整備事業」として、分野横断的に様々なデータの利活用を図るための情報連携システム基盤（データ連携基盤、都市OS）及び市民向けに様々な情報を提供する多言語ポータルアプリ（つくスマ）を整備した。	
課題	業務	データ連携基盤と連携したつくスマでの具体的サービス提供
	組織、予算等	国等の補助金の効果的な活用
改善目標	データ連携基盤を活用する事業者を調整し、国等の補助金を効果的に活用しつつ、つくスマで具体的なサービスを実装する。	

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	拡大・拡充
理由	つくスマの機能拡充（AIチャットボット、市民レポート機能、デジタルID対応等）を行うため